

# 伊勢原市

## 内水ハザードマップ



お問い合わせ先

〒259-1138 伊勢原市神戸120番地  
土木部下水道経営課  
TEL: 0463-92-3341 FAX: 0463-95-0981

令和4年3月 伊勢原市

伊勢原市公式イメージキャラクター  
クルリン



### 風水害時のわが家の避難行動

家族でハザードマップを使って、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動」について話し合い、必要項目を記入・コピーして共有しましょう。

#### ■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名前	電話番号	必要事項(常備薬等)
避難の際、支援してくれる人		
名前:	電話:	住所:

#### ■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

必要項目に記載し、□にチェックしましょう。

自宅が浸水想定区域内にある場合、  
最大浸水深は： m

自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか □ある □ない

自宅は土砂災害警戒区域内にあるか □ある □ない

実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

●風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入手したらわが家は、

□自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。 □へ水平避難します。  
(※むやみに外出せず、情報収集に努める)

移動時間: \_\_\_\_\_

●水平避難の途中で危険を感じたら、 \_\_\_\_\_ へ緊急的に垂直避難します。

移動時間: \_\_\_\_\_

※近隣の頑丈な建物など、より安全な場所へ避難しましょう。  
外水氾濫、土砂災害は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう。

わが家の避難行動を確認しましょう。



### 内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは、大雨時に想定される下水道や水路に起因した浸水範囲や浸水深の情報をまとめたマップです。住民の皆様に内水ハザードマップをご確認いただくことで、下水道や水路からの浸水に対する備えを万全にし、災害発生時に被害を最小限にすることを目的としています。



#### 内水氾濫と外水氾濫(洪水)の違い

##### 内水氾濫

その場所に降った雨水が、道路側溝や下水道、水路等では処理しきれなくなったときや、川の水位が高くなり雨水を排水できなくなったり、マンホールや雨水ます等からあふれてしまう現象です。過去に浸水のあった箇所は特に注意しましょう。

##### 外水氾濫(洪水)

大雨で川の水量が増え、水位が増して堤防を越えたり、堤防を壊壊させて川の水が外に流れ出てしまう現象です。氾濫が起こると急激に水位が上がるため最大の注意が必要です。



#### 雨の強さと降り方

降っている雨を観察することで、大体の雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方とその状況を知っておきましょう。

1時間雨量 (mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~	
●サーーと降る。 ●地面から跳ね返りで足元がぬれる。 ●雨の音で話し声が良く聞こえない。	●しゃ降り。 ●傘をさしていても濡れる。 ●ワイパーを速くして見づらい。	●バケツをひっくり返したように降る。 ●道路が川のようになると。 ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。	●滝のようになる。 ●ゴーグーと響き続くなる。 ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。	●息苦くなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。	

### 日頃から備える—マイ・タイムライン

#### ①安全な避難経路の確認を



避難までの経路(避難経路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

#### ③非常持ち出し品の事前準備を



避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

#### ②家の周りの道路側溝や雨水ますの確認を



側溝や雨水ますに落ち葉などのゴミが詰まっていると、浸水の原因になります。あらかじめ掃除をしておきましょう。

#### ④家中の浸水に備えて



床上浸水のおそれがある場合は、大切な家財道具を2階や高い安全な場所へ移動させておきましょう。

#### 避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内より安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

##### 立退き避難(水平避難)



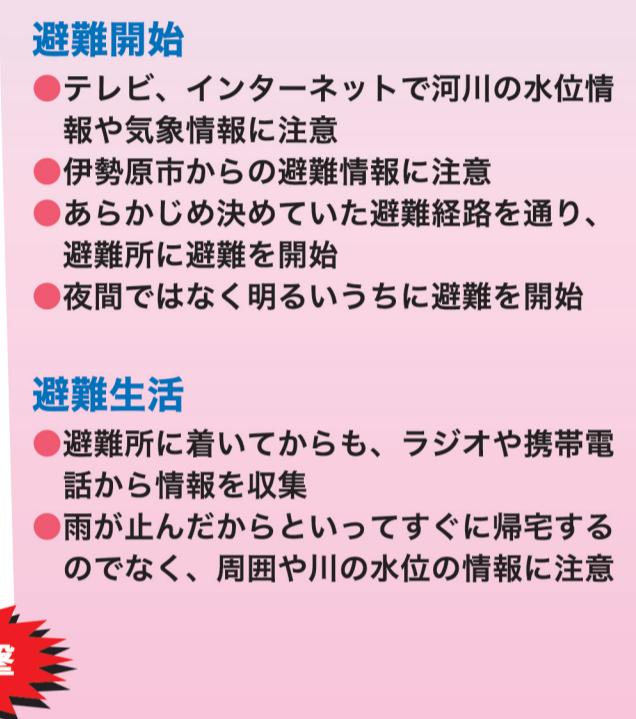
河川の近くや浸水が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにあることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難(水平避難)は災害が発生する前に行なうことが原則です。

##### 屋内安全確保(垂直避難)

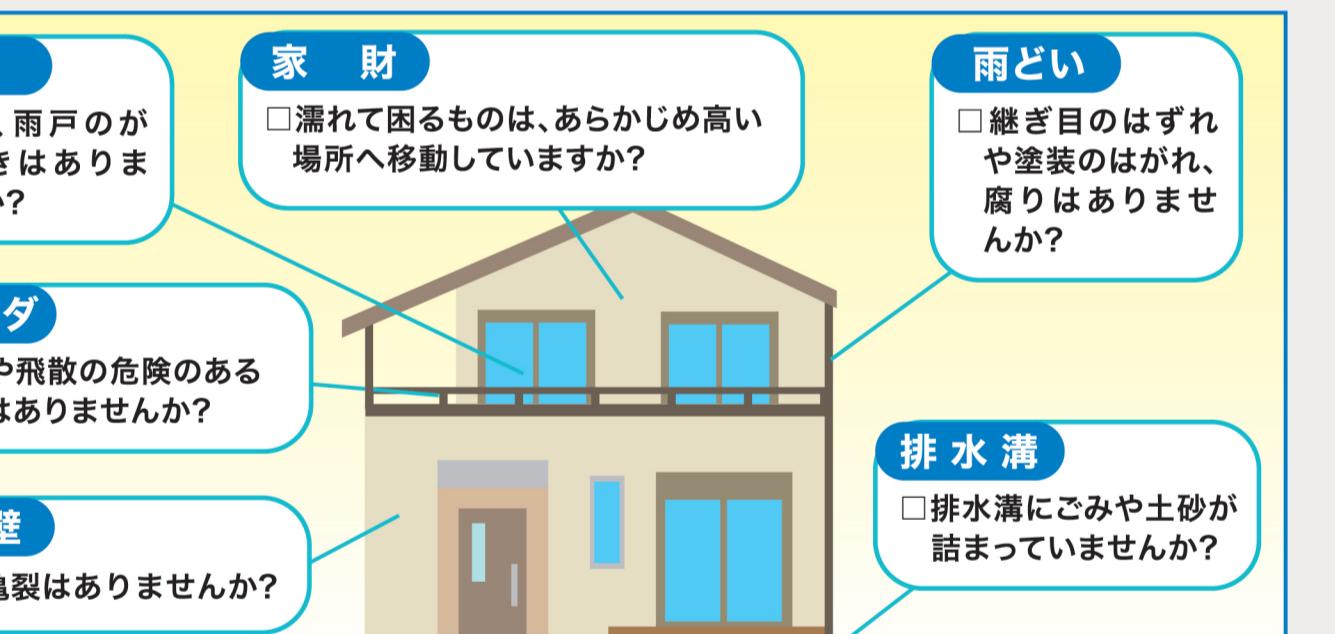


屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保(垂直避難)をしましょう。

台風などの風水害やそれに伴う土砂災害は、あらかじめ予測できる災害です。災害から命を守るために、あなたや家族が状況に応じた避難ができるよう、事前に確認しておきましょう。



### 家庭でできる浸水対策



#### 道路等からの浸水を防ごう

##### ごみ袋による方法

大きなごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れてしまいます。ダンボールに入れることにより、積み重ねることもできます。



##### シートによる方法

土を入れたプランターを並べ、シートで巻き込んで補強します。水を入れたポリタンクを並べて使うこともできます。



##### 止水板による方法

ごみ袋で作った簡易の止水板を組み合わせ、出入口などに設置します。



##### 吸水性ゲル水のうによる方法

土のうの代用として市販の吸水性ゲル水のうがあります。軽く、コンパクトで水を吸うと膨張します。



#### 排水口等からの浸水を防ごう

##### 洗濯機の排水口

水のうなどを排水口の上に置くことにより、逆流等の浸水を防ぐことができます。



##### お風呂場の排水口

床下浸水により水があふれてくることがあります。事前におもしをのせるなどしましょう。



##### 床下収納

床下浸水により水があふれてくることがあります。事前におもしをのせるなどしましょう。



### 避難時の心得



#### ①正確な情報収集と自主的な避難を

ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報を注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



#### ③避難の呼びかけに注意を

危険が迫ったときは、市や消防団から避難の呼びかけがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。



#### ②お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子供、持病のある方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、持病のある方などの避難に協力しましょう。



#### ④動きやすい格好、2人以上の避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

### 危険箇所に注意



#### ①アンダーパスに注意

アンダーパスとは、道路が他の道路や鉄道などをくぐるよう横断する箇所で、大雨時には水が溜まって危険な場所です。冠水時は不注意に侵入せず迂回しましょう。



#### ③地下について

地下空間では地上が冠水すると、水が一気に流れ込んでくることがあります。扉は30~50cm程度の浸水で、水压により閉鎖ができないりますので、早めに避難しましょう。



#### ②浸水している場所は注意が必要

浸水している場所は側溝やマンホールのふたが外れた箇所などに転落するおそれがあり危険です。長い棒などで確認しながら歩きましょう。



#### ④流れのある場所へは近づかない

ゆっくりとした流れでもひざの高さになると危険です。用水路や河川など流れのある場所には近づかないようにしましょう。橋にも注意が必要です。